

## 県立学校における新型コロナウイルス感染症対策について

### 1. 感染状況

	年度	計 (人)	感染経路(人)			
			家庭	学校	その他	不明
児童生徒	令和2年度	40	20	10	1	9
	令和3年度	77	30	30	8	9
教職員	令和2年度	6	2	2	0	2
	令和3年度	3	2	0	0	1

(令和3年度は6月28日までの数値)

※ 令和3年4月中旬以降、児童生徒の感染が急増した。感染経路は、家庭内感染に加えて、4月下旬以降は学校関連で感染したと推定される感染が増加し、クラスターも3件確認されている。

保健所からは、昼食や部活動の前後、帰宅時の仲間との飲食などで感染が広がった可能性がある」と指摘されている。

教職員の感染は、令和3年度に入ってから比較的少ない状況である。

※ 感染判明により臨時休業を行った学校は令和2年度7校、令和3年度7校である。

### 2. 感染症対策について

#### (1) 現状

##### ① 通知などによる注意喚起

- ・ 国のマニュアルと県のガイドラインによる対策の指針を提示
- ・ 年末年始、大型連休の前など、感染拡大が想定される時期ごとに注意喚起の通知
- ・ 職員室等職場内および家庭内における感染症対策を周知徹底
- ・ クラスター発生を受けて全校に感染症対策チェックリスト送付、結果を共有

##### ② 学校に対する物資や人的支援

- ・ マスク、消毒液、ハンドソープなどの保健衛生用品や「3つの密」回避のためのパーティションやサーキュレーター等の購入支援
- ・ 学校内の消毒などのスクール・サポート・スタッフの配置

#### (2) 課題

- ① 学校管理下以外での対策の徹底
- ② 生徒の感染症対策についての意識向上

#### (3) 今後の対応

- ① 感染症対策について指導方法の一層の工夫(各校独自の指導方法などを共有)
- ② 保健所と県立学校が、感染症対策についての意見交換会を実施予定
- ③ 早期感染者の把握(県のイベントベースサーベイランス事業への参加など)
- ④ 県広域ワクチン接種センターでの教職員のワクチン接種